

# 木更津市商工業振興計画

平成 26 年 3 月

木 更 津 市

## はじめに

産業の発展は、新たな雇用を生み地域社会を活性化させるなど、市民生活の向上と密接に関係しており、今後の本市の発展にとって欠かせないものとなっております。厳しい経済状況のなかで、産業が発展するためには、経済的社会的環境の変化に対応した事業者の自助努力を基本としつつも、市、事業者、産業経済団体、市民の相互連携・協力なくしては成り立ちません。

こうした認識のもと、地域経済の健全な発展と市民生活の向上を目指すため、産業振興の基本理念や方針、市、事業者、産業経済団体の役割、市民の理解と協力など、産業振興に関する基本的な事項を定めた「木更津市産業振興基本条例」を平成24年3月に制定しました。

この条例の基本理念と方針に基づき、市内の商工関係者、市民等から、ご意見を頂きながら、本市が目指す商工業の将来像を明らかにし、将来像の実現に向けた方針・施策を定めるため、「木更津市商工業振興計画」を策定しました。

本計画では、商業振興において将来像を「地域に根ざした魅力ある商店・商店街づくり」とし、3つの基本目標「地域に密着した商業機能の展開」、「個店と商店街の商業活動の強化」、「地域特性を活かした魅力ある商業機能の強化」を定め、目標を達成するために10の基本方針と44の施策を定めており、工業振興において将来像を「地域の特性を活かした工業振興」とし、3つの基本目標を「変化に対応した工業（ものづくり）活動の推進」、「多様な主体との連携・協働の推進」、「ものづくり人材の育成と確保」と定め、目標達成のため8つの基本方針と23の施策を定めております。

本計画が有効に活用され、将来にわたって明るい展望や豊かさを実感できる街、自立する街、持続可能な都市の実現に寄与されることを期待いたします。

結びに、貴重なご意見等をいただいた振興計画策定調査研究委員会委員の皆様をはじめ、多くの皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成26年3月

木更津市長 水越 勇雄

## 《 目 次 》

### 第1章 計画の目的と位置づけ

1. 計画の目的	2
2. 計画の位置づけ	3
3. 計画の期間	3

### 第2章 木更津市の商工業の現状と課題

1. 木更津市を取り巻く社会情勢の変化	5
(1) 位置・沿革・地勢等	5
(2) 人口・世帯等の状況	7
(3) 財政の状況	13
(4) 道路・交通の状況	14
(5) 事業所・従業者の状況	18
(6) 商業の状況	21
(7) 工業の状況	29
2. 商業振興に係る課題と特性	36
(1) 商業振興に係る課題の抽出	36
(2) 商業振興に係る課題の整理	38
(3) 商業振興に係る地域特性	39
3. 工業振興に係る課題と特性	40
(1) 工業振興に係る課題	40
(2) 工業振興に係る地域特性	41

### 第3章 商業振興計画

1. 商業の将来像	43
2. 商業振興の基本目標と基本方針	44
3. 商業振興の施策体系	47
4. 商業振興の施策	48

### 第4章 工業振興計画

1. 工業の将来像	54
2. 工業振興の基本目標と基本方針	55
3. 工業振興の施策体系	57
4. 工業振興の施策	58

### 第5章 計画の推進・進行管理

1. 計画の推進体制	62
2. 計画の進行管理	62

## 資料編

---

資料 1. 研究会委員名簿	64
資料 2. 研究会実施経過一覧	65
資料 3. 研究会意見要旨一覧	66
資料 4. 消費者（市民）アンケート調査結果	69
資料 5. 事業者アンケート調査結果	84
資料 6. 三井アウトレットパーク木更津聞き取り調査結果	103
資料 7. 事業者アンケート調査結果	109